

身体からのサインに気づいて

身体からのサイン、見逃していませんか？

がんは初期では無症状。その症状、がん検診を待たずに相談してください。



がんの多くは、初期段階では症状が出にくい特徴があります。
そのため、以下の症状に当てはまる場合は、
次回の「がん検診」を待つのではなく、医療機関で
適切な検査を受けることが推奨されています。



胃がん



- ☐ 胃の痛み、不快感、違和感
- ☐ 胸やけ、吐き気、食欲不振
- ☐ 黒い便（血便）や、出血による貧血
- ☐ 食事がつかえる、体重が減る

⇒ 内科または消化器科へ



肺がん



- ☐ 長引く咳、痰（たん）
- ☐ 血痰（痰に血が混じる）
- ☐ 胸の痛み
- ☐ 動いたときの息苦しさや動悸

⇒ 内科または呼吸器科へ



大腸がん



- ☐ 便に血が混じる（血便や下血）、便の表面に血が付着する
- ☐ 便の性状や排便の回数の変化（軟便や下痢など）

⇒ 内科または消化器科へ



乳がん



- ☐ 乳房のしこり
- ☐ 乳房にくぼみができる
- ☐ 乳頭や乳輪のただれ
- ☐ 左右の乳房の形が非対称になる
- ☐ 乳頭からの異常な分泌物（血の混じった液が出るなど）

⇒ 乳腺科へ



子宮がん

（子宮頸がん・子宮体がん）



- ☐ 月経（生理）以外の出血、閉経後の出血（不正出血）
- ☐ 異常なおりもの（水っぽいおりもの、血が混じり褐色になるおりもの等）

⇒ 婦人科へ



肝臓がん



- ☐ 黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）
- ☐ 腹部のしこりや圧迫感、痛み

※健康診断などで「肝機能の異常」「肝炎ウイルス感染」を指摘されたことが受診のきっかけになることも多くあります。

⇒ 内科または消化器科へ



受診時のポイント



これらの症状があるからといって、必ずしもがんであるとは限りません。胃潰瘍や痔、一時的なホルモンバランスの乱れなど、良性の病気が原因のことも多くあります。しかし、自己判断せずに「いつもと違う」と感じる症状が続く場合は、事前に医療機関へ相談のうえ、早めに受診することが大切です。

【お問い合わせ先】 米子市健康対策課

電話 0859-23-5452,5468

令和8年10月作成